

ちちぶ

2017.2.10

第47号

市議会だより



大田小学校ふれあい学校



秩父市イメージキャラクター
ポテくん

12月定例会

- 27年度の決算を認定
一般会計歳入約308億1,310万円
歳出約284億7,745万円
- 一般会計補正予算(第3回)を可決
全ての小学校へのエアコン設置が決定

大田小学校ふれあい学校の
子供たちは、
1年生と2年生の27名。
勉強も遊びも大好きで、
仲良く元気に過ごしています。
季節にあわせていろいろな活動が
あり、毎日が楽しみです。

発行：秩父市議会

編集：市議会だより編集委員会

秩父市議会事務局 〒369-1592

秩父市下吉田 6585-2

☎ 0494-72-2122

新庁舎移転予定2月20日(月) 〒368-8686

秩父市熊木町 8-15

☎ 0494-25-5224

12月定例会の議案質疑等の内容

12月定例会（11月29日から12月14日まで開催）では、市長提出議案30件（9月定例会からの継続審査11件を含む）のほか、議員提出議案7件を審議しました。質疑の主な内容は下記のとおりです。（27年度決算の各議案についての討論については4、5ページに掲載しています。）

市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

趣旨

一般職職員の給与改定に準じ、特別職（市長、副市長、教育長、市議会議員）の期末手当について改定を行うもの。

問 特別職の期末手当の支給月数の改定を一般職職員の給与改定に準じて慣例的に行っている理由は。

答 期末手当は、民間の景気動向や社会経済情勢を反映することが必要であると考えている。そのため、人事院や埼玉県人事委員会の勧告に基づき、一般職職員の給与改定に準じる方法が最も理にかなっているかと判断している。

問 特別職の期末手当の額の妥当性が担保されるよう、第三者的な立場による特別職報酬等審議会の審議対象とする特別職報酬等審議会条例の改正をする考えはあるか。

答 現行の条例は国の示す参考条例にならっており、他の多くの自治体と同様に期末手当の改正は、審議会の審議の対象となっていない。現段階

では、審議対象とするような条例改正は考えていない。

問 特別職報酬等審議会を定期的に開催し、特別職の給与や報酬などの額に関して説明責任を果たすとともに決定過程の透明化を図る考えは。

答 最終的には議会で審議いただき、決定すべきものである。

討論

反対

特別職の期末手当の支給月数を改定する際も、特別職報酬等審議会が設置されるべきであると考えており、審議会の設置なしでの期末手当の改定に反対する。

デイサービスセンター条例の一部改正

趣旨

利用者が減少していることなどをふまえ、29年3月31日をもって大滝デイサービスセンターを廃止するもの。

問 大滝デイサービスセンターは、利用者が年々減少しているとの説明だが、利用状況の推移は。

答 11月1日現在、要支援1の方が1名、要支援2の方が1名と非常に減少してきている。月平均の利用者は、23年が7人、24年が11人、25年が16人、26年が13人、27年10人、28年度が10月までの平均で7人となっている。

問 影響を受ける利用者へのケアを含め、今後の予定は。

答 29年4月から介護認定にかかわらず、65歳以上の人が誰でも、月曜から金曜日まで利用できるサロン型の事業に移行する予定である。地域に出て行く出張型も年36回計画

し、地域の方々にさらに元氣になっていただきたいと考えている。

問 委託先との契約関係はどうなっているのか。

答 現在は指定管理という形で委託をしている。条例等が改正され、施設が廃止されれば指定管理ではなくなるが、来年度以降も予定している新規事業に関して社会福祉協議会にそのまま委託する計画でいる。

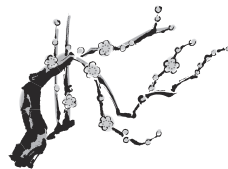
秩父宮記念市民会館条例の一部改正

趣旨

市民会館の供用開始にあたり、実費相当額の徴収について規定するほか、附属設備および備品の使用料の額について規則で定めるもの。

問 「特別に電氣を使用した場合」における実費相当額とはどのような状況を想定しているのか。

答 今後、大きなコンサート等を予定した場合に持ち込みの機材を使う場合がある。その際、新市民会館の電源を使うと膨大な電力となるので、その部分については別に電源盤を設けて、使用した方に使った分の電氣料を請求する。



（吉田総合支所3階）

芸術文化会館条例の廃止

趣旨

市役所本庁舎等の完成に伴い、芸術文化会館を閉館とするもの。

問 芸術文化会館の賃借関係は。

答 29年度より所有者の方にお返ししたい。

問 芸術文化会館条例では、『郷土作家の絵画等の芸術の保存と活用を図るとともに、市民に対し、芸術の創造及び普及の場を提供する』とあるが、芸術文化会館閉館後はどういうに芸術の場を提供するのか。

答 新市民会館や歴史文化伝承館が使えるようになるので芸術文化会館の機能の一部を移転する考えである。



南小学校に設置されたエアコン

一般会計補正予算(第3回)

主な補正内容

- ・臨時福祉給付金支給事業 2億436万円
- ・町会除雪対応事業 1000万円
- ・小学校施設普通教室空調設備設置第3期工事 9069万9千円
- ・久那小学校特別支援学級教室改修工事 190万円
- ・文化体育センタートレーニング機器購入費 1000万円

問 小学校施設の普通教室空調設備設置第3期工事

答 久那小学校特別支援学級教室改修工事

問 文化体育センタートレーニング機器購入費

答 1000万円

問 小学校施設の普通教室空調設備設置第1期・2期工事は夏休みを利用し設置されたが、3期工事は12月補正予算で計上されているため春休み等を利用し設置するのか。

答 年明けには工事の手続きを進めたいところであるが、学校現場においては3月が教室の再編等の時期でもあるため、状況を踏まえ、ゴールデンウィーク等を利用して、暑くなる前にエアコンが設置できれば良いと思う。今後の施工業社と学校現場の調整となる。

問 今回の第3期工事では、1教室当たりの工事単価が、1期・2期に比べて高くなっているが、その理由は。

答 ここ数年の建設費高騰の影響が理由である。

問 国の第2次補正予算により、補助金(学校施設環境改善交付金)が交付されることになったため、空調設備の整備が前倒しになったようだが、交付決定までのような過程があったのか。

答 28年度当初は熊本地震等の影響で交付が厳しい状況であったが、文科科学省に対し、秩父市の夏季の厳しい教育環境について粘り強く説明を続け、交付されることとなった。

問 指定管理者である秩父地域振興公社から1千万円の寄付を受け、文化体育センターにトレーニング機器を増設することとなった経緯は。

答 秩父地域振興公社は資産に関して、公益目的支出計画があり、資産を保有することができないため、理事会の承認を得てトレーニング機器の購入費に充てるため寄付を受けるものである。



12月定例会本会議の様子

問 学校管理運営事業の修繕費約65万円の使途は。

答 給食用食材の放射能を測る測定器の修理費である。

問 新市民会館の債務負担行為の内容は。

答 新市民会館の舞台技術管理業務委託料である。舞台装置・照明等、スムーズに運営するため、技術員を常時3名配置し、事業内容によっては増員する内容となっている。

問 職員の時間外手当460万円増額の理由は。

答 降雪等の災害があった際の対応として300万円、その他160万円である。

問 今回の補正予算において減債基金ではなく、財政調整基金に1億5千万円を積み立てるのはなぜか。

答 これから新年度の予算編成を行うが、来年度以降の財政状況についてまだ不透明な部分もあるため、財政調整基金に積むこととした。

討論

反対

問 当市として財政調整基金の残高について、どのくらいが適切と考えているのか。

答 一般的には標準財政規模の5〜10%が相応しいとされてきたが、県内でも額が増えている自治体が多くなっている。今年度から普通交付税の合併特例期間が段階的に終了し、33年度に完全な一本算定になるまで、交付税が大幅に減額になることが見込まれる。積める時には積んで、将来に備える必要があると考えている。

この度の補正予算には市長、副市長、教育長、市議会議員の期末手当の年額で0・1月分の引き上げが含まれている。行政や議会に厳しい視線が注がれている今、特別職の給与や報酬、手当などについて、納税者である市民の皆さんにわかりやすく伝えることは公職に就いている私たちの責務と考える。特別職の期末手当の支給月数を改定する際も、その性質上、特別職報酬等審議会が設置されるべきであり、審議会の設置なしでの期末手当の改訂に反対する。

27年度決算に対する討論

一般会計決算

賛成

一般会計の歳入は約308億円、歳出は約285億円、歳入歳出差引残額は約23億円となっている。事業計画に従って予算が執行され、創意と工夫、改善を加えながら、健全な財政運営がされたと考える。

市長が27年度最重点事項として取り組んできた市役所本庁舎等の建設工事も順調に進んでいる。セーフコミュニティ国際認証の取得、秩父版CCRC基本構想策定のための調査など、多くの事業が推進された。

決算審査特別委員会では、現地調査も行い、審査に各日ともに大変長い時間をかけ、各委員から意見が出し尽くされるまで質疑が行われた。当局からは納得のいく詳しい説明があり、それぞれ事業の目的に従って適正に執行された状況を確認した。

市税等の収入未済額は前年度と比較し減少しているものの、依然として多額となっている。税負担の公平性を保つために、今後も滞納者への納税相談、定期的な滞納整理の実施など、迅速で的確な対応を図り、収入未済額の解消への尽力をお願いする。

基金への繰り入れについては、市役所本庁舎等の建設や、今後予想される公共施設やインフラの整備、地方交付税減額に備えるために計画的に積み立てるものであると考える。

今後も、厳しい財政状況を踏まえ、長期的な視点に立ったコストの削減を図りながら、効果的な事業展開をお願いし、賛成する。

反対

市税では、滞納による差し押さえの件数が増加している。その背景には、長期の不況下で市民の生活が厳しい状況にあることが考えられる。生活困窮で納めきれない人にはマニュアル的な徴税強化ではなく、実情を把握したうえでのきめ細かい対応をお願いする。

また、市役所本庁舎等の建設の費用と近年の財政運営を合せて考えると、市の財政運営は市民が望むものであったのか大きな疑問が生じる。行政改革などにより発生した不用額の多くが公共施設整備基金に積み増されてきた主な理由は、市役所本庁舎等の建設のためであると言える。市民との合意形成の欠如と、建設におけた基金の多額の積み増しが市の財政と市民サービスに与える影響について懸念し、反対する。

また、決算全体を通して財政運営のバランスが不均衡である。市民ファーストの観点から見ると残念ながら財政運営のバランスが取れている状況には見えない。市民生活に配慮を欠いたこの決算を認めることはできない。

国民健康保険特別会計決算

賛成

国民健康保険は、加入者の年齢構成が高く、一人当たりの医療費も年々増加し、低所得者の加入割合が高いなど、財政が安定しないという構造的な問題を抱えている。医療費は年々増え続け、全国どの自治体も厳しい運営状況にある。国民健康保険を将来にわたり維持していくために、市町村から都道府県へと広域化について、今後の動きを注視していく。

厳しい運営状況のなか、国民健康保険税を低く抑え、疾病予防や人間ドッグ、特定健診などが行われていることは評価する。一方、不能欠損額、収入未済額は、前年に比べ減少しているものの、多額となっている。加入者の公平性を確保するためにも、今後も保険税の収納への努力をお願いし、賛成する。

反対

国民健康保険税の収納状況は、26年度に続いて、不能欠損額が大幅に増加している。背景には、市民生活の困窮があり、国民健康保険税が高過ぎて払えないという人が多いことを示している。滞納者に対してその生活実態に寄り添った対応が求められる。これらの問題の根本的解決には、半減された国庫補助率を元に戻すよう国に対して要求していくことが求められていることを指摘し、反対する。



介護保険特別会計決算

賛成

急激な高齢化の進展に伴い、要介護認定者、介護サービスの利用者ともに年々増加し、厳しい財政運営を迫られている。第6期計画では、限られた財源を、介護の必要度の高い人に使えるよう、給付の重点化が図られた。財源が厳しい中、対策は必要であり、やむを得ないと理解し、賛成する。

反対

前年度からの介護報酬の引き下げが実施され、介護施設や介護事業者の事業が成り立たなくなる実態が生じている。また、軽度者を保険から外し、財政措置なしで自治体任せにする総合事業に切り替える改正が実施された。在宅介護を目指すのであれば、介護者支援や保険限度額を超えた負担に対する支援策等も盛り込まれるべきであり、反対する。

水道事業会計決算

反対

企業債のうち、利率が3%を超える借入が8件もあるが、これらの借換え、繰上償還（返済）がされなかった。

一般会計との関係では、見込み改修工事発注の削減により、多額の不用額を積み残していること、また、浦山ダム建設に関する負担金の処理に関し、本来、水利権を有する市の一般会計として支出すべきであるところ、水道事業会計を経由することに問題があったと考える。企業債の問題と併せて、広域化による事務事業移管の中でこうした大きな問題が積み残されていることを指摘し、反対する。

決算審査特別委員会

9月定例会において、その審査の重要性に鑑み、27年度一般会計、特別会計および企業会計の決算の認定についての議案（11件）が決算審査特別委員会に付託された。

特別委員会では、9月から11月にかけて、必要な場所については現地調査を実施するなど6日間にわたり委員会を開催し、審査を行った。主な内容について報告する。

◆一般会計決算

社会保険・税番号制度システム整備に関連した市の負担と考えられる効果は。

システムの改修等にかかる市の負担分は約1915万円であった。効果としては、福祉系の各種申請の際、所得証明等の添付書類が不要になるなど、市民の負担が軽減されることが挙げられる。

ふるさと納税について、歳入の寄附金と歳出の委託料の差額が実質的な市の収入か。

委託料には寄附していただいた方への返礼品等が含まれており、歳入の寄附金から委託料を引いた差額約6900万円が実質的な市の収入となる。

温水プール施設使用料について、27年6月に行った65歳以上の方の使用料の有料化の影響は。

有料化に伴い65歳以上の方たちの利用の減少が予想されたが、それほどの減少もなく、引き続き利用していただいている。

芝桜事業の収支に関し、入園料などの歳入と事業費を比較すると約1400万円の赤字となるが、今後の事業の方向性は。

芝桜事業は、市内への経済効果が15億円以上あると推測されることから、収支の改善に努めながら、事業を継続したい。

秩父看護専門学校補助金について、この看護専門学校を卒業後の秩父管内への就職状況は。

26年度が33名中16名、27年度が36名中17名となっている。

意見 医師の確保と同様に、看護師の確保も年々厳しくなっていると聞いており、看護師確保のための奨学金の創設を検討いただきたい。

◆国民健康保険特別会計決算

◆後期高齢者医療特別会計決算

◆介護保険特別会計決算

以上4件は挙手多数により認定

◆下水道事業特別会計決算

◆農業集落排水事業特別会計決算

◆戸別合併処理浄化槽事業特別会計決算

◆公設地方卸売市場特別会計決算

◆駐車場事業特別会計決算

以上5件は認定

◆水道事業決算

○挙手多数により認定

◆市立病院事業決算

○認定

全体を通しての意見

●各公共施設の今後について、施設の利用状況などを踏まえ、担当課としての方向性をしっかりと定めていただきたい。

●各公共施設の電力契約について、公共サービスの質を落とさず、経費が削減できるよう、見直しを検討していただきたい。

第6回 議会報告会

～市民の意見を聴く会～ を開催します！

『開かれた議会』をめざし、日ごろの議会の活動状況を報告するとともに、市民の皆さまのご意見やご提言を今後の議会審議等へ反映させるため、議会報告会を開催します。

とき 5月19日（金）午後6時30分

ところ ・尾田蒔公民館
・大田公民館
・大滝振興会館 } （3会場同時開催）

12月定例会で審議した議案・請願の結果

議案等の件名	議決結果	会派ごとの賛否				
		清流 12人	共産 3人	公明 2人	絆 2人	無会派 金崎 清野
28年度補正予算						
一般会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	×
国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
下水道事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
駐車場事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
市立病院事業会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
条例						
一般職職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	×
市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	×
市税条例等の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
デイサービスセンター条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
学校設置条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
秩父宮記念市民会館条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
芸術文化会館条例の廃止	原案可決	○	○	○	○	○
市道						
市道の路線変更	原案可決	○	○	○	○	○
市道の廃止	原案可決	○	○	○	○	○

清流：清流クラブ 共産：日本共産党秩父市議会議員団
公明：公明党 絆：市民の会・絆 無会派：会派に属さない議員
※議長は人数に含まれていない。

議案等の件名	議決結果	会派ごとの賛否				
		清流 12人	共産 3人	公明 2人	絆 2人	無会派 金崎 清野
27年度決算						
一般会計決算の認定	認定	○	×	○	○	×
国民健康保険特別会計決算の認定	認定	○	×	○	○	○
後期高齢者医療特別会計決算の認定	認定	○	×	○	○	○
介護保険特別会計決算の認定	認定	○	×	○	○	○
下水道事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○
戸別合併処理浄化槽事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○
公設地方卸売市場特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○
駐車場事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○
水道事業決算の認定	認定	○	×	○	○	○
市立病院事業決算の認定	認定	○	○	○	○	○
議員提出議案						
セシウム濃度8,000Bq/kg以下除去土壌の再生利用方針の再検討を政府に求める意見書	否決	×	○	×	×	○
ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
「森林・林業基本計画」の推進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
残業時間の上限規制など労働時間の規制強化を求める意見書	否決	×	○	×	×	○
南スーダンから自衛隊の速やかな撤退を求める意見書	否決	×	○	×	×	○
秩父市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	○	○	○	○	○
請願						
有害鳥獣捕獲後の処理施設の建設に関する請願 【この請願を「継続審査」とすることについて採決しました。】	継続審査	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数

常任委員会の報告

総務委員会

12月定例会で付託された議案4件について報告する。

◆市税条例等の一部改正

◆秩父宮記念市民会館条例の一部改正

問 市民会館大ホールに機材を持ち込み、電気を使用した場合、実費徴収はどのようにするのか。

答 コンサート等のイベント終了後、持ち込み機器専用の電源盤で使用した電気量を計測し、金額確定後に清算する。

◆芸術文化会館条例の廃止

問 常設展示室は、29年4月23日まで展示計画があるが、借り上げ料は発生するか。

答 4月23日まで大作展が行われ、その後、建物の原状回復工事を行い、所有者へ返還するため、借り上げ料については、6月くらいまでの支払いを予定している。なお、来館者用駐車場については、3月末日をもって返還するため、その分安くなると考えている。

◆一般会計補正予算(第3回)

問 町会除雪対応事業は、実際にボランティアとして活動した人が市に請求できるのか。

答 町会で除雪活動していただくことが前提となっているので、その活動を集約し、町会長から市へ申請したものが対象となり、個人

的に除雪作業するものについては対象としない。

問 秩父宮記念市民会館の舞台技術管理業務委託について、委託業者の選定方法と委託期間は。

答 選定方法はプロポーザル方式で行い、限られた予算でより効率的な内容を提示した業者と契約する。委託期間は29年1月から3年3か月間を予定している。

問 この舞台技術管理業務委託の説明では、常時3人の技術員とあったが、想定しているホールの使用頻度と、常時3人の技術員の必要性は。

答 ホールの稼働率は40パーセントで計算し、3人の技術員の内訳は舞台担当者、照明担当者、音響担当者を各1人と想定している。それぞれ専門的な技術が必要とするため、舞台関連の技術員としての経験年数が10年以上の方をお願いする。舞台等のない日常業務では、設備の管理、保守、整理整頓等を行うほか、イベント等の主催者との打ち合わせ等にも出席し、市民からのいろいろな要望に対応する。

○以上4件は原案のとおり可決



常任委員会の報告

まちづくり委員会

12月定例会で付託された議案7件及び請願1件について報告する。

◆市道の路線変更

- ・久那地内久那小学校付近の延長
- ・品沢地内林地開発に伴う短縮

◆市道の廃止

- ・滝の上町地内第一中学校付近、利用状況により廃止
- ・別所地内県道改良事業に伴い、2路線廃止

◆一般会計補正予算(第3回)

問 御花畑公衆トイレ改修工事へ充当される県の補助金「みんなに親しまれる駅づくり事業補助金」について、当初よりこの補助金の存在を把握していたのか。

答 当初は県の補助枠に空きがなかったが、県との交渉の結果、御花畑公衆トイレのバリアフリー化を進めたことおよび県の補助枠に空きができたことにより、交付されることとなった。

◆下水道事業特別会計補正予算(第2回)

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回)

◆戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第2回)

◆駐車場事業特別会計補正予算(第2回)

問 三峰駐車場の運営業務委託料を補正で計上した理由は。

答 三峰地域を訪れる観光客の渋滞緩和を図るため、2月1日の気守(きまもり)の日以降、駐車場警備を増強して試験的に運用していたが、渋滞対策の効果が認められたため、警備員等の増員を行うものである。

○以上7件は原案のとおり可決

◆有害鳥獣捕獲後の処理施設の建設に関する請願(西秩父猟友会・上吉田支部)

意見 有害鳥獣対策は広く地域で対策を講ずべき性質のものであるため、提出者において他の猟友会と協議を進め、広く賛同者を募って改めて提出していただきたい。

意見 現在、5つの猟友会がまとまった形で請願を提出するために協議を進めているとのことであり、今回は継続審査とすべきである。

意見 請願の趣旨に、「猪・鹿肉の有効活用処理施設の建設」も含まれているが、秩父地域の野生動物から食品衛生法の規定に基づく基準値を上回る放射性セシウムが検出されているため、慎重に協議を進める必要がある。

○継続審査に対する挙手採決の結果、総員賛成により、継続審査に決定



文教福祉委員会

12月定例会で付託された議案7件について報告する。

◆デイサービスセンター条例の一部改正

問 今回の条例改正は大滝デイサービスセンターを廃止する内容だが、今後、大滝地区において、要支援、要介護認定を受けていない方たちにも門戸を広げる形で新規事業を開始する予定はあるか。

答 29年度から大滝地域の65歳以上の方すべてが対象となるような事業の実施を検討している。

今後、これらの事業をきっかけに介護予防事業を展開していければと考えている。

◆国民健康保険税条例の一部改正

◆学校設置条例の一部改正

問 今回の条例改正は吉田小学校太田部分校を閉校とする内容だが、閉校後の利活用は。

答 地域の住民の方との協議の中で、避難所としての機能を充実してほしいという要望が出ていたことから、校舎については、避難所として災害時の物品などを充実にしていくことになる。

◆一般会計補正予算(第3回)

◆骨髄移植ドナー支援事業の概要は。

答 骨髄等の移植の推進を図るた

め、骨髄等を提供した方で、ドナー休暇等を受けられない職場などに勤務される方に対する休業補償的な性格の助成金として、1日2万円、7日間を上限に交付するもので、当該経費の二分の一が県からの補助で市に交付される。

◆就学援助費の該当児童の増加人数と考えられる理由は。

答 当初予算で準要保護児童を262人と見込んでいたが、12月1日現在で300人が見込まれる状況となっている。増加理由は、低所得世帯の増加のほか、制度説明の資料を充実させ、ホームページの更新、学校で配布を行ったことなども要因と考えている。

意見 教育長の期末手当の支給月数について、特別職報酬等審議会を開催し、審議されたうえで増額されることが望ましいと考えており、教育長の期末手当の増額を含む今回の補正予算に反対する。

○挙手多数により可決

◆国民健康保険特別会計補正予算(第2回)

◆介護保険特別会計補正予算(第2回)

◆市立病院事業会計補正予算(第2回)

○以上3件は原案のとおり可決

意見書

12月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書6件が提出され、審査の結果、3件が原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書

- 1 ホームドアの設置にあたっては、全ての鉄道駅ホームの危険箇所の実態調査を速やかに行うこと。とりわけ、転落の危険性が高い駅については、現在計画中の駅とあわせて、速やかな設置を実現すること。
- 2 「内方線付き点状ブロック」の整備については、全駅での整備を促進すること。
- 3 ソフト面の対応として、希望者への駅係員のアテンドや、一般旅客に対する誘導案内、さらには視覚障がい者への積極的な声かけ等事故を未然に防ぐ対策を強化すること。



地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書

- 1 被災者支援システムの全自治体への完備・普及や学校区単位での自主防災コミュニティの組織化や訓練の実施等地域防災力の向上を図ること。
- 2 大規模水害から住民の命と暮らしを守るための自治体の枠を超えた流域ごとのタイムラインの作成や避難行動に直結するハザードマップの作成、適切な避難勧告・指示発令のための体制構築を図ること。
- 3 災害に強い防災拠点の整備として、スマートフォン等で家族の安否や緊急連絡を得られるようにするための公衆無線LANの設置や災害時におけるトイレ機能確保のためのマンホールトイレの整備を促進すること。
- 4 子どもや女性、高齢者や障がい者が、避難所生活でつらい思いをすることがないよう避難所の環境整備や防犯体制を強化すること。

「森林・林業基本計画」の推進を求める意見書

- 1 「森林・林業基本計画」に掲げる施策の推進に向け、平成29年度予算概算要求で計上された

予算額の確保を図ること。

また、地球温暖化防止森林吸収源対策の推進については、安定財源の確保に係る新たな仕組みの早期実現を図るとともに、「地球温暖化対策のための税」を活用した木質バイオマスエネルギー等の利用に係る予算の拡充、森林吸収源対策として措置された地方財政措置の拡充を図ること。

- 2 森林資源の循環利用確立に向け、国の責務として確実な再造林を図るため、鳥獣害対策も含めた公的補助の拡充を図ること。あわせて、苗木の安定供給に向けた施策の拡充を図ること。

- 3 林地の集約化、森林経営計画策定の促進に向け、市町村への林務担当職員の配置、人材育成に向けた国の支援策を講じるとともに、国の職員による技術的な支援を行うこと。

- 4 地域材の安定供給体制の確立に向け、原木のとりまとめは、流域単位の川上から川下等の関係者及び、官民連携による協議会方式を基本とし、安定供給、需給調整、販売をコーディネートする組織・人材の育成を図ること。

また、地域材利用促進については、公共建築物の木造化、中高層建築物等へのCLTの利用拡大等、これまでの対策を一層

推進させるとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック関連施設への地域材の利用促進と、森林認証・認証材の普及拡大に向けた対策を図ること。

- 5 「山村振興法」の基本理念、附帯決議に基づき、山村地域において雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援措置を講じるとともに、地域振興・地域林業確立の観点から、国等の発注する事業については、地域の事業体が優先的・安定的に受注出来る発注方式に変更すること。

また、林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充、労働安全対策をはじめとする就業条件改善に向けた対策の強化を図ること。

- 6 条件不利地域など適正な森林整備が進まない森林については、水源林造成事業等による公的森林整備の拡充を図るとともに、事業の長期的・安定的な実施に向けた体制の確立を図ること。

また、経営意欲の低下した所有者の森林、不在村所有者森林など、林地集約の支障となっている森林については、地方公共団体による公有林化の促進に向け、全額国費による助成措置を講じる等、支援の強化を図ること。

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

① 小櫃 市郎（清流クラブ） 1 ユネスコ無形文化遺産登録 2 龍勢まつりの国指定文化財登録の見込み 3 市民会館・本庁舎竣工式典 4 市長2期目の実績、今後の課題	⑥ 江田 治雄（市民の会・絆） 1 地球温暖化対策について今後の取組 2 有害鳥獣問題の抜本的な対策	⑪ 大久保 進（公明党） 1 災害時におけるマンホールトイレ設置 2 美の山観光道路の不法投棄 3 小型家電回収の現状
② 新井 重一郎（清流クラブ） 1 秩父市「生涯活躍のまち」実現に向けて 2 市の企業誘致の基本的考え方 3 全国学テから見た秩父市子供の基礎学力 4 モデル校！CT活用の現状と評価	⑦ 福井 貴代（公明党） 1 コミュニティ・スクールの導入 2 地域公共交通の充実	⑫ 浅海 忠（市民の会・絆） 1 大滝三峰地域の交通渋滞対策 2 インターネット・携帯電話通信網の現状 3 公務員採用試験 多様な才能ある職員を 4 公共常設駐輪場を西武秩父・御花畑駅に
③ 黒澤 秀之（清流クラブ） 1 地場雇用創出に向けた製造業振興 2 秩父市本町・中町まちづくり計画 3 産前・産後サポートの充実 4 財政健全化条例の制定	⑧ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団） 1 18歳までの医療費の無料化 2 通級指導教室の充実 3 子どもの虐待を防ぐ対策	⑬ 山中 進（日本共産党秩父市議会議員団） 1 子どもの貧困対策 2 障がい者（児）にやさしいまちづくり 3 くらしと行政の対応 4 太陽光発電設置
④ 五野上 茂次（清流クラブ） 1 環境・衛生政策 2 野外活動センター・県立秩父東高跡地 3 市立小・中学校トイレ 4 教育環境の整備	⑨ 斎藤 捷栄（日本共産党秩父市議会議員団） 1 国保制度の広域化で保険料はどうなる 2 市役所本庁舎・市民会館の定礎プレート 3 交通弱者対策と原谷線延伸要望	⑭ 清野 和彦 1 秩父市の財政運営・公共施設整備基金 2 いのちを守る防災・減災の取組みの強化 3 地域の産業を守る公契約条例の制定
⑤ 高野 宏（清流クラブ） 1 防犯・防災政策 2 伝統芸能・文化継承 3 IoTの活用 4 市と町会の連携	⑩ 金崎 昌之 1 住宅耐震補強工事補助制度の拡充 2 道路維持課分室組織の充実・強化 3 緊急通報システムの有効活用 4 秩父市立民俗博物館の復館を	

※市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

清流クラブ政策提言より



清流クラブ 小櫃 市郎
おひつ いちみつ

●伝統芸能・文化伝承施策

問 ユネスコ無形文化遺産登録後の秩父夜祭の取組みは。

答 12月1日の午前2時2分に秩父祭を含めた「山・鉾・屋台行事」33件がユネスコ無形文化遺産に決定した。今後は、観光担当局と連携して祭りの魅力を世界に向けて発信していくとともに、先人たちから受け継がれてきた秩父祭を後世に伝えていきたい。関係者をはじめ市民の皆さんが世界の祭りとして秩父祭を守る責任と誇りを持つてよう、文化財保護意識の向上に努めていく。

問 棕神社の龍勢の国指定文化財に向けた現状と指定の見込みは。

答 25年度から27年度の3年間で、国の補助金を受けて総合調査を実施し、調査報告書をすでに文化庁へ提出している。約500ページにわたる報告書は、龍勢の歴史、現状が克明に記録され、大変素晴らしいと評価をいただいた。文化庁伝統文化課に早期に文化審議会に諮問していただけるよう働きかけを行っている。

●市民会館・本庁舎竣工式典

問 市民の皆さまにお知らせする完成披露の式典の内容は。

答 完成式典は3月26日に開催する予定である。式典では、ゆるキャラによる出迎え、秩父屋台ばやしによるオープニング、施設の概要説明や寄贈いただいた緞帳などの披露、市政に功労のあった方々への表彰を行い、観光大使である林家たい平師匠に登場いただきたく交渉を進めている。詳細が決定次第、市報などを通じ、早期に案内する。



祝！ユネスコ無形文化遺産登録

一般質問

「生涯活躍のまち (秩父版CCRC)」 の実現に向けて

清流クラブ 新井重一郎
あらいしゅういちろう



問 この一年間における具体的な取組みとその成果は。

答 今年7～8月に豊島区の公募区民約50名が参加する「地方居住を考えるワークショップ」を豊島区との共催で実施した。また、秩父市内を巡るツアーやシンポジウムでの意見交換会などを計4回行った。今週末には総仕上げとしてパネルディスカッションとこれまでの意見交換を基にした「政策提案書」が発表される。

問 秩父市民への広報と啓蒙、理解を得る取組みは。

答 広く市民の意見を求めるためパブリックコメントを実施。また、情報提供として「生涯活躍のまち」とはどのようなものかを市報10月号で紹介し、続く11月号で「生涯現役で活力あるまち」というテーマで市長コラムを掲載した。12月号では、7～8月に実施した市民への「移住・交流に関するアンケート」の結果を掲載する。さらに来年度には、生涯活躍のまちの先進事例視察のための市民向けバスツアーを計画している。

問 住居形態および経営方式は、空き家や市営住宅などの既存

ストックを活用し幅広い年代と所得階層の人々が利用できるようにする。更に、お試し居住できる住居整備や二地域居住も考える。具体的経営方式は秩父市生涯活躍のまちづくり基本計画に盛り込む。例えば、サービス付高齢者住居の拠点施設建設の場合は原則として周辺インフラ整備は行政で、入居者募集や建設・運営は公募による民間事業者等と役割分担を考える。



豊島区との共催による
「地方居住を考えるワークショップ」風景

◎市の企業誘致の基本的な考え方
◎基礎学力の向上と定着
◎モデル校のICT活用の評価

地場雇用創出に向けた 製造業振興について

清流クラブ 黒澤 秀之
くろさわ ひでゆき



問 雇用の維持創出に向け、現状の既存地場企業への具体的支援は。

答 産学官連携コーディネート事業および、中小企業応援プロジェクト事業を鋭意取り組んでいる。

問 人材育成の観点で地場企業に勤める従業員の技能資格認定取得等にかかる費用を助成する考えは。

答 技能資格認定種類が多岐に渡るため、継続して研究していく。

問 過日締結した「ものづくり大学との連携協力協定」について、産業振興における具体的な施策は。

答 今後、地元企業の意見を聞きながら、具体的な連携内容について検討していく。

●本町・中町まちづくり計画

問 現在進められている本町・中町中央線整備状況と今後の計画は。

答 28年度末で約70%の用地取得が見込まれ、30年度、本町地区から本工事に着手する予定。

●産前・産後サポート

問 秩父版ネウボラ(産前・産後サポート)の充実に向けた進捗は。

答 市役所女性職員14名で構成される研究会議からの報告を受け、



「産前・産後サポート」の充実で子育ての街

全庁的に検証している段階である。

問 助産師における母乳ケアに対し、助成していく考えは。

答 近隣自治体の状況を参考に、市として最善となる支援体制を前向きに検討していく。

●「財政健全化条例」の制定

問 既に、先進自治体で制定が進んでいる「財政健全化条例」について制定する考えは。

答 将来にわたって、更なる安定した財政運営の確保を考慮し、既に条例制定した先進自治体を参考に制定する方向で検討していく。

一般質問

環境・衛生政策

●下水道事業の将来的なビジョン

問 現状、下水道の普及していない地域として主に久那・高篠・黒谷地区がある。将来的な展望は。

答 「秩父市下水道事業計画」に基づき事業を進めており、全体計画の1438ヘクタール（主に影森・中央・大野原・高篠・黒谷地区）のうち、事業計画区域の1088ヘクタール（黒谷と横瀬川より東側の高篠地区を除いた部分）において、国の事業認可を受け、事業を進めている。下水道の普及は、生活環境改善に向けて重要な施策であり、整備の方向性が確定した段階で、周知を図っていく。

●市立小中学校のトイレ

問 今回、市立小学校のトイレについて調査を行ったところ、洋式化率は60・6％であり、洋式が主流の家庭トイレと比べ、洋式化が遅れていることに大変おどろいている。児童たちにとって大切な日常生活の一部となる学校のトイレについてどう考えているのか。

答 小中学校を合わせた洋式化率は埼玉県全体が44％、秩父市は

清流クラブ 五野上茂次

このかみ しげし



58％となっている。小中学生のほとんどが家庭では洋式トイレを使用していると思われるので、計画的に洋式化を推進していく。

●教育環境の整備

問 大田中学校校舎の外壁は建て替え以降、手が加えられておらず、学習環境としてふさわしい状況はないと思うが、改修の予定は。

答 新耐震基準以降に建築された校舎であり、改修工事を行っていない。計画的に改修を実施する。



大田中学校校舎

◎野外活動センター
◎県立秩父東高等学校跡地

清流クラブ政策提言より

●防犯・防災政策

問 子どもや高齢者の防犯対策の取り組みは。

答 子どもや高齢者を犯罪から守る施策として、防災行政無線や、「安心・安全メール」を活用し、犯罪情報の周知を図っており、市が主体となり、犯罪に対し町会・消防団・警察・消防署・学校が、協力しあって迅速な対応ができるよう行っている。特に、近年増加している「子どもに対する声かけ事案」に対しては、警察や学校からの情報を発信し、注意喚起を行い、自主防災・防犯組織によるパトロールや、各町会に「地域における見守り」をお願いしている。セーフコミュニティ活動の推進による、地域の「目」による監視力を高め、防犯灯の設置を進め、夜間や通学時間帯の犯罪を未然防止したいと考えている。

問 防災施策、雪害への対応、「地域ボランティア除雪隊報奨金制度」と市から町会に貸与された「小型除雪機」の運用については。

答 雪害の対応について、市街地の町会では、雪置き場の確保に苦慮している状況から太平洋セメン

清流クラブ 高野

たかの



ひろし 宏

トに協力いただき、旧秩父セメント跡地を利用出来る。「地域ボランティア除雪隊報奨金制度」は、重機・車両・雪置き場が対象で、人力による除雪作業は対象ではないが、今後、各町会の意見もいただき検討していく。「小型除雪機」の維持・管理経費は、燃料代、修理代、損害保険料等が町会負担となるが、除雪隊報奨金制度の対象であり、活用いただける。



町会に貸与された小型除雪機

◎伝統芸能・文化継承について
◎IoTの活用について
◎市と町会の連携について

一般質問

市民の会・絆 政策提言より



市民の会・絆 **江田 治雄**
えだ はるお

●地球温暖化防止対策

問 市では環境立市推進課がその任に当たっており、太陽光発電設備の補助制度や天ぷら油を再生し、バイオ燃料事業等が進められている。二酸化炭素削減は各家庭の節電も大きな力を握っていると思われるが、家庭の冷蔵庫・エアコン・テレビ等の買い替えの際にサイクル券購入の補助金制度がないか。

答 10年以上経過した冷蔵庫、エアコン、テレビ等の家電は消費電力が現在の新しい物の倍以上と言われており、この買い換えに対し一部の補助を検討している。また、古い家電製品を使い続けることが、地球温暖化の原因になることを市民に向けてアピールしていきたい。

●有害鳥獣被害の抜本的な対策は

問 統計上は被害面積、金額が減っているとの報告である。市民は諦め申しない。最近では旧市内の住宅地までサルやシカが目撃されている。秩父地域全域で個体数が増えていると思われる。ここまで放置して来た国の責任もあり、

支援策を国に求めたらどうか。

答 未だに捕獲だけに頼り被害が増加している地区もある。総合的な取り組みを地域住民が主体となつて実施できるように推進していく。また、鳥獣被害の拡大は初期段階の何らかの兆候を見落とし、有効な手立てを打たなかったことが要因である場合も多い。今後、地域住民とともに対策を推進し、地元選出の県議、国会議員を通じて国の支援策も活用できるように訴えていく。



住宅地まで進出してきたイノシシ

コミュニティ・スクールの導入



公明党 **福井 貴代**
ふくい たかよ

問 コミュニティ・スクールは公立学校の運営に対し、保護者や地域住民に積極的に関わっていただくとする仕組みであり、学校運営協議会が設置されている学校のことをコミュニティ・スクールと呼んでいる。導入した多くの学校の校長が、学校が活発化し効果があつたと答えている。導入には、教育委員会からの指定が必要となるが、導入に対する教育長のお考えは。

答 教育委員会および市長主催の総合教育会議で議論。導入する方向で取り組む。学校と地域の良好な関係を生かし、コミュニティ・スクールの導入で、より地域の力を学校運営や、教育活動に生かしていく「秩父市版地域とともにある学校」をめざす。

●地域公共交通の充実

問 交通事故に占める高齢ドライバーの割合は非常に高くなっている。対策は急務である。「高齢者が車を運転しなくてもよい暮らしの実現にむけて」地域公共交通を充実させるとともに、運転免許返納サポート事業の充実等、自主返

納を促す取り組みについて見解は。

答 西武観光バス12路線の内、9路線が補助対象路線で、補助金総額は約8160万円。その他、市営バス2路線の運航と乗り合いタクシー運行に関わる経費負担が約2千万円。経費負担増は懸念されるが地域の移動手段として確保しなければならぬ。持続可能な公共交通を目指し取り組む。免許返納サポート事業については、今後自主返納への機運も高まるものと推察され、改善を検討していく。



秩父地域ルートマップ



コミュニティ・スクールを紹介するパンフレット

一般質問

通級指導教室の
充実について

日本共産党秩父市議会議員団

出浦 章恵
あきえ

通級指導教室の現状は。

問 市内3校に設置されている。難聴・言語障害通級指導教室は秩父第一小学校にあり、17人(市内14人、横瀬町・小鹿野町・長瀬町各1人)の児童が通級している。発達障害・情緒障害通級指導教室は、花の木小、原谷小にあり、それぞれ9人の児童が通級している。

専門の教員の配置は。

答 現在、通級指導教室を担当する教員は3人ですべての教員が特別支援学校教諭免許状を所有し専門的な指導をしている。しかし、特別支援学級の担任は、免許状の所有をしていない教員もいる。研修会への参加や免許取得のための講習会などに積極的に参加させ、専門性を高めるよう指導している。

中学校への通級指導教室の設置をする考えは。

答 市内の中学校に設置はない。現況は自校の特別支援学級に支援籍副次的な籍を持ち、特別支援教育を受けているケースが多い。設置は国の教職員定数加配により県教育委員会を通じて措置されるため国・県に積極的に要望する。

18歳までの医療費の無料化

問 市長の標榜する「子育て支援・日本一幸せなまち」を言葉通りに実現するため18歳までの医療費の無料化を進めてはどうか。長瀬町はすでに今年10月から始めた。小鹿野・皆野・横瀬町も来年4月からの実施を決めた。町の首長からは1市4町で足並みを揃えたいと意向も示されたが、秩父市はまだやらないのか、市長の見解は。

答 やらないとは一度も言っていない。検討中。

*通級による指導 とは

小学校または中学校の通常の学級に在籍している軽度の障がいのある児童生徒に対して、ほとんどの授業を通常の学級で行いながら、障がいの状態に応じた特別な指導を週1～8単位時間、特別な指導の場で行うこと。

市民生活の安心・安全
をめざして

日本共産党秩父市議会議員団

斎藤 捷栄
さいとう かつしげ

国民健康保険制度の広域化

問 県単位での広域化により保険税はどうなるか。

答 県は、現時点での保険税率統一は難しく、市町村ごとの税率設定としているが、示される標準税率は高くなると予想され、税額増加は避けられないと考えられる。

市役所・市民会館の定礎

問 首長名を刻んだ公共建築物の定礎はすこぶる評判が悪い。改めて定礎についての考えは。

答 指摘を受けて検討し、市民の代表である市長の思いを込めたメッセージを定礎プレートに入れ込む方向で計画を進めている。

交通弱者対策と原谷線延伸

問 高齢者の事故が多発する中で運転免許証返納者の実態は。

答 27年中の返納者は118人で、免許保有者1万4百人の約1%。

問 和銅黒谷駅から皆野町境の間の国道140号には何らの公共交通手段もない。この間に住む市民は約千百人、高齢化率は31%、黒谷駅や皆野駅に出るのも困難な状況で地域住民にとっては死活問題

原谷線 和銅黒谷駅

和銅黒谷駅循環(右回り)

停留所	西武秩父駅	秩父駅	秩父神社前	西武秩父駅
180 上野一丁目	7:15	8:25	10:40	12:15
180 秩父ふるさと館前	7:18	8:28	10:43	12:18
180 秩父駅	7:20	8:30	10:45	12:20
180 秩父神社前	7:22	8:32	10:47	12:22
200 大野原駅前	7:25	8:35	10:50	12:25
260 文化体育センター入口	7:34	8:38	10:59	12:29
260 黒谷六地蔵	7:35	8:40	11:00	12:30
270 黒谷六地蔵	7:37	8:42	11:02	12:32
300 和銅黒谷駅	7:42	8:47	11:07	12:37
270 金山	7:44	8:49	11:09	12:39
270 蓮華寺入口	7:46	8:51	11:11	12:41
300 大野原駅前	7:52	8:57	11:17	12:47
300 秩父神社前	7:56	10:01	11:21	12:51
300 秩父駅	8:00	10:05	11:25	12:55
300 秩父神社前	8:02	10:07	11:27	12:57
300 上野一丁目	8:05	10:10	11:30	13:00
300 西武秩父駅	8:13	10:18	11:38	13:08

原谷線路線図と時刻表

答 バス路線は一部観光路線を除いてほとんどが赤字路線で、膨大な維持費を要しており、費用対効果を含め慎重な検討が必要だ。指摘を受け交通事業者や、皆野町、近隣自治体とも連携協力を図りながら、住民の期待に応えられる生活が確保されるよう検討を重ね、進めたいと考えている。

一般質問

住宅耐震補強工事 補助制度の拡充



かなさき まさゆき
金崎 昌之

問 県内他市に比べて大変低い補助制度の充実について6月議会で質問し、検討をしてみたいとの答弁があった。検討の結果は。

答 広聴サポーターへのアンケート結果で、「制度を知らない」という方が8割もいた。まず、制度の啓発で利用いただけるよう努めていく。

●道路維持課分室組織の充実・強化

問 分室の人員不足で、道路補修などの市民要望に迅速に対応できる体制に無いと思えるが。

答 合併時9人の職員が現在5人になっている。分室の存在意義は大変大きく、無くてはならない。技能労務職員の補充も選択肢の一つとして検討・協議する。

●緊急通報システムの有効活用

問 少子高齢化が加速する中で、ひとり暮らしの高齢者世帯の増加によって一番心配されるのが、病気や事故時の速やかな病院搬送等の対応。消防本部に直接通報できる緊急通報システムの活用は。

答 より積極的な周知を行う。

●市立民俗博物館の復館を

問 民俗博物館が閉館して10数年も経過しており、市の歴史上貴重な収蔵品等の保管状態が心配。

答 博物館の資料は、聖地公園内にある旧秩父駅舎など3か所に分けて管理している。

問 博物館は観光地秩父市の顔でもあり、復館が望まれるが。

答 復館については、資料の管理のあり方や公共施設等総合管理計画推進を念頭に、今後総合的な検討が必要。

緊急通報システム事業
消防署へ直接通報する 救助通報システム

- 利用者の自宅に救助通報機を設置し、利用者自身は無線発信器を常に携帯していただきます。(ペンダント型と腕時計型を選択できます。)
- 万が一、自宅で利用中に急病等の緊急事態が発生した時は、利用者が無線発信器を押すだけで消防署に緊急通報することができます。
- 緊急通報を受信した消防署は、コンピュータが即座に通報者の住所や氏名等を表示するため、より迅速に、より確実に通報者を救助することができます。

備えて安心・緊急通報システム

災害時におけるマンホール トイレ設置について



おおくぼ すずむ
公明党 大久保 進

問 災害時におけるマンホールトイレ設置の考えは。

答 東日本大震災や熊本地震など、大地震により甚大な被害を被った被災地においては、避難所や避難場所での上位の課題となっているのが、トイレ問題である。市内のリース業者を確認したところ、店舗のストックは約20基であり、避難所を数か所開設した場合には、被災地外から調達する必要がある。マンホールトイレの整備については、迅速に組み立てが可能であり、日常使用している水洗トイレに近い環境が確保できるため有効な手段であると認識している。災害時のトイレ使用は、衛生状況の悪化だけでなく、排泄を我慢するために、飲食制限を行い健康被害の報告例があり、市民の生命と公衆衛生の観点から、トイレ対策の重要性が改めて求められている。災害時に迅速なトイレ環境が提供できるような体制の構築に検討していく。

●小型家電回収の現状

問 回収促進に向けた周知方法は。

答 回収の促進を図るため、住民の皆さんの要望や近隣自治体の状況を見るなど、市独自に広報の強化、充実について検討していく。

●美の山観光道路の不法投棄

問 不法投棄が後を絶たないが市の取り組みと不法投棄防止対策は。

答 この地域は埼玉県立長瀨玉淀



地元住民による清掃活動

一般質問

大滝三峰地域の
交通渋滞対策

問 マイカー規制「パークアンドライド方式」の導入を実施してみてはどうか。

答 パークアンドライドの導入については渋滞の緩和対策・環境保全対策として有効とされており、26年11月に内部で検討を行っており、臨時駐車場として旧大滝中学校240台・旧大滝小学校90台・神庭交流広場370台の計700台を想定した。規制区間は、二瀬ダム信号機から三峰駐車場までとし、規制対象車種は「軽自動車・普通自動車」で地元関係車両は除いた。渋滞車両台数の算定根拠として、本年10月1日に発生した9キロメートルとして試算すると渋滞中の車両は1150台となる。臨時駐車場として旧大滝中学校は大滝橋の完成により利用は可能。旧大滝小学校・神庭交流広場は適していない。パークアンドライド導入については三峰駐車場の混雑緩和には有効だが交通渋滞対策としては効果が期待できない。

問 現状を見れば直ちに駐車場の2倍にも3倍にも増えない。拡張工事は時間も費用も掛かるがパークアンドライド方式は社会実験と

市民の会・絆 浅海

あさひみ

ただし 忠



●公共駐輪場の整備

問 西武秩父駅・御花畑駅利用者向けの公共常設駐輪場の整備は。

答 現状が良いとは考えていない。西武秩父駅からの人の流れ、市役所への人の流れ等を検討して後手にならないように取り組んでいく。



秩父公園内の駐輪場の様子

市民に行き届いた市政を



やまなか

すすむ 進

日本共産党秩父市議会議員 山

●子ども貧困対策

問 夜まで働くお母さんの帰りをコンビニでパンを買って待ち続ける小学生。親にお金の心配をかけるまいと、部活や修学旅行をあきらめる中学生。またもな食事は給食だけ…。いま日本では子どもの6人に1人が貧困に陥っている。7月の厚生労働省の発表では、「子どもの貧困率」が過去最悪の16.3%となっている。子どもの貧困対策を急ぐべきだ。

答 市としてどのような対応が有効か、全国の先進例を参考に研究していく。

●障がい者（児）にやさしいまちづくり

問 障害者基本計画に掲げた「共生社会」の実現を目的に、「障がいのある方が活動し、社会に参加する力の向上を図るとともに、福祉サービスの整備やバリアフリー化の推進」など、自立に向けた地域基盤の整備等に取り組むと示されているが、補助具の購入など福祉サービスの充実は。

答 補聴器など高額なものについては国の基準に従い対応する。

●太陽光発電事業

問 ソーラー発電設置に関し、各地で周辺住民と意見の違いや利害による事例も起きている。このガイドラインと要綱を発表したことにより、ソーラー発電設置に対し、設置者や業者に一定の歯止めになるのでは。

答 このガイドラインは、事業者と住民が良好な関係を構築し、環境や景観等と調和し、適正に推進していくことを目的に制定した。

緑ヶ丘自治会では、地域の子供達の健やかな成長を願い、放課後の子供の居場所運営を始めました！

夏休みの寺子屋の延長のつもりで、共働き家庭等・親が仕事に行っている間、学校が終了後の放課後の子供居場所として、緑ヶ丘自治会館を利用し、退職教員や地域のお母さんたちが、学習支援や食事の提供（無料）をしています。



これは、浦添市が実施する「てだこ未来応援事業居場所運営」を受託し、9月7日（月～金の16:00～19:00）から、開始しています。

放課後、子供達だけで過ごすことが不安な貴女・貴方・どうぞ、お気軽にお子さんを、参加させてください。

子ども食堂を案内するチラシ
(沖縄県浦添市緑ヶ丘自治会)

◎市の公共事業発注状況と労務単価について

一般質問

秩父市の財政運営について



きよの かずひこ
清野 和彦

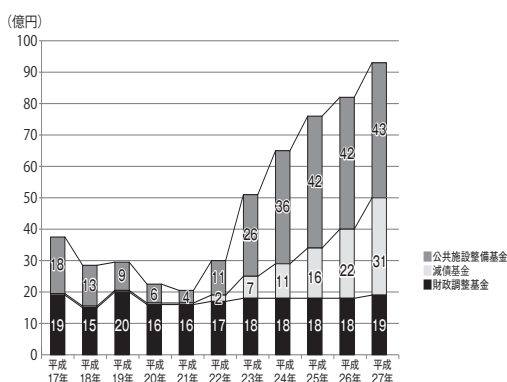
問 26年度決算では秩父市の市民一人あたりの基金残高が19万4774円、県内40市で断トツの多額。現市長が就任した21年に3億7561万円だった公共施設整備基金が27年には42億5766万円と11・3倍に。現市長の市政運営を通じて積み増されてきたことと市庁舎市民会館建設との関連は。

答 建設の財源とするため当初30億円を目標に積立を進めた後、将来の財政需要を見込み更に積立てた。主に市庁舎市民会館建設の財源として約19億7600万円を取崩し28年度末の基金残高は約26億円の予定。公共施設の老朽化に伴い多額の費用が予測され、普通交付税の合併特例措置の終了による大幅な歳入減を考えると現在の基金残高が多額とは考えてはいない。

問 市の行政改革の成果は市庁舎市民会館建設の為の基金に積みまわってきたといえるのでは。基金が多いことは必ずしも良いことではなく本来行われるべき公共サービスが行われていない可能性もある。市民が望む雇用の場の確保や市立

病院の充実等に積極的に取り組むことができたのでは。福祉分野等で財源がないことを理由に事業の縮小はなかったか。このような財政運営が、市民が本当に望んだものであったのか、市長の考えは。

答 市立病院は様々な提案を行っている。福祉関係の様々なサービス等、私なりに十分やってきた。2期目の市政運営ではある程度土台を創りあげたという自負がある。



市の各基金の残高の推移

- ◎市報を通じての財政情報の公開
- ◎防災・減災の取組み強化
- ◎公共事業等の適正価格の契約と地域経済に貢献する公契約条例

3月定例会の予定

各日、午前10時開会予定

日 程	議 事
3月1日(水)	開会、議案説明
6日(月)	議案に対する質疑
7日(火)	一般質問
8日(水)	
9日(木)	
10日(金)	委員会
16日(木)	委員長報告、採決、閉会

※ 議場は、新庁舎の4階です。
日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もあります。



新庁舎4階の新議場 (29年1月)

3月定例会は 新議場で開催!

3月定例会(3月1日開会)は、新庁舎の議場で開催される記念すべき第1回目の議会となります。新しい議場で行われる議会の傍聴にぜひお越しください。

編集後記

寒い日が続いていますが、皆さま、いかがお過ごしですか。春の足音が聞こえてきましたね。東日本大震災後議場を、23年6月議会から吉田支所に移し開催してきました。新庁舎完成に伴い3月定例会から新議場での開催となります。我々議員も心機一転気持ちを引き締めて、市政発展のため頑張ります。傍聴席は車椅子席も含め53席となります。お気軽に議場へ足をお運びください。今年は酉年ですね。酉年の「酉」は、「酒」に関する時に用いられ、収穫できる状態である、という意味から「実る」という意味もあるようです。今年一年が皆さまにとって、実り多い年になりますようご祈念いたします。

平成29年1月 江田 治雄 記

編集委員

委員長
副委員長
委員

木村 隆彦
大久保 進彦
江田 治雄
清野 和彦
赤岩 秀彦
出浦 章文
高野 宏